



HotLand通信

2017.1.1 » 2017.12.31

Hotland

株式会社ホットランド

証券コード:3196



「築地銀だこ」創業20周年の2017年、既存店売上高は100%超の成長を遂げました。 引き続き当事業のさらなる強化・拡大を図り、国内・海外で事業拡大に取り組みます。



代表取締役社長 佐瀬 守男

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2017年度は、主力ブランドの「築地銀だこ」事業に経営資源を集中させる戦略を掲げて、取り組んでまいりました。「築地銀だこ」は2017年3月に創業20周年を迎え、「築地銀だこ」20周年『ニッポンのタコヤキは、タノシイ。』をスローガンに掲げ、春・夏・冬のTVCM放映を軸に、「大感謝祭」などの大規模キャンペーンを戦略的に実施いたしました。これらの取り組みが大いに奏功し、通期既存店売上高は前年比102.4%という数字を挙げることができました。加えて、ソフトバンク株式会社や株式会社ミクシィとのキャンペーンタイアップも実施するなど、「築地銀だこ」のブランド力を活用した新たな取り組みを展開いたしました。ハイボール酒場業態については、立地特性に合わせた業態開発により、首都圏でのドミナント展開が進展しました。

海外事業においても新たな進展がありました。アークランドサービスホールディングス株式会社と、両社のグループブランドを巨大マーケットである米国市場に展開していくことを目的として、合併契約を締結いたしました。2018年度より出店を行っていく予定です。

一方で、不採算店舗の閉鎖やグループ内の業態変更、不採算事業の見直しなど、グループの再編も積極的に行い、グループ全体での収益性改善に取り組みしました。この結果、2017年度は、売上高32,407百万円(前期比2.8%増)、営業利益1,104百万円(前期比2.5%増)で、増収増益の決算となりました。

2018年度も、引き続き「築地銀だこ」事業のさらなる強化・拡大を図ってまいります。「築地銀だこ」は継続的な店舗スクラップアンドビルドに取り組み収益性の向上を図りながら、当面の目標である500店舗突破を目指します。ハイボール酒場業態については、首都圏のみならず地方都市でも展開可能な業態開発にも取り組み、出店余地の拡大とともに、総合的な銀だこブランド価値の向上を図ってまいります。さらに、前期に開始した製造販売事業を本格的に拡大させてまいります。自社工場において、「築地銀だこ」「COLD STONE CREAMERY」といったグループブランドの冷凍食品を製造し、拡販していく戦略です。海外においても、マレーシア・タイ・インドネシアの東南アジア地域での事業拡大、そして米国市場での事業をスタートさせてまいります。

「築地銀だこ」を中心とした当社グループの今後の成長に、是非ご期待いただきたいと存じます。引き続きご支援の程を宜しくお願い申し上げます。

2018年3月

沿革

- 1991(平成3)年6月 株式会社ホットランドを群馬県桐生市相生町に設立
- 1997(平成9)年3月 「築地銀だこ」1号店をオープン
- 1998(平成10)年10月 東京初出店として「築地銀だこ」サンモール中野店をオープン
- 2004(平成16)年12月 「築地銀だこ」海外1号店(香港)をオープン
- 2007(平成19)年11月 「銀のあん」1号店をオープン
- 2008(平成20)年9月 「日本橋からり」1号店をオープン
- 2009(平成21)年5月 「銀だこハイボール酒場」1号店をオープン



- 2011(平成23)年7月 復興商店街「ホット横丁石巻」を開設
- 2012(平成24)年12月 宮城大学と世界初マダコの完全養殖を目的とした包括連携協定を締結
- 2014(平成26)年1月 コールド・ストーン・クリーマリー・ジャパン株式会社を完全子会社化
- 9月 東京証券取引所マザーズ市場に株式を上場
- 2015(平成27)年5月 「The Coffee Bean & Tea Leaf」1号店をオープン
- 9月 東京証券取引所市場第一部へ市場変更
- 2017(平成29)年10月 アークランドサービスホールディングス株式会社と米国事業に関する合併契約を締結
- 冷凍たこ焼の新工場を竣工



会社概要 (2017年12月31日現在)

商号	株式会社ホットランド(証券コード:3196)
設立	1991年6月
代表者名	代表取締役社長 佐瀬 守男
資本金	16億7,851万9,900円
所在地	東京都中央区新富一丁目9番6号 新富一丁目ビル
従業員数	585名
店舗数	国内580店舗・海外62店舗
連結子会社	国内3社・海外4社
出店形態(国内)	直営269店・PC157店・FC154店
役員	代表取締役社長 佐瀬 守男
(2018年3月29日現在)	取締役副社長 荻野 哲
	専務取締役 横田 利央
	取締役 高橋 謙輔
	社外取締役 寺山 昭英
	常勤監査役 菅野 章
	社外監査役 塚田 功
	社外監査役 辻谷 公夫

ホットランドのブランド紹介

ホットランドが展開する主なブランドをご紹介します。

築地銀だこ



「築地銀だこ」は、厳選素材を使用して、皮はパリッと、中はトロッと、たこはプリッと焼き上げた“ぜったいうまい!!たこ焼”です。活気と親しみに満ちた雰囲気の中で、熟練の職人が一つひとつ心を込めて焼き上げるのが信条。まんまるアツアツのたこ焼を通して、ほっとするひと時やたくさんの笑顔を提供します。



2017年に発売された期間限定商品。左から：関西コレクションコラボ『えび塩』、プレミアムシリーズ『もちチーズ明太』

コールド・ストーン・クリーマリー



アメリカ生まれのデザートショップ「コールド・ストーン・クリーマリー」。-9℃に冷やした石板の上で、アイスクリームとフルーツやナッツをミックスして、オリジナルのデザートを提供します。プレミアムアイスクリームバーやソフトクリームの展開が注目を集めています。



薄皮たい焼 銀のあん

薄皮たい焼

銀のあん

北海道産の小豆を使用し、昔ながらの製法で炊いた餡は手間ひまかけたこだわりの証しです。この餡を贅沢にたっぷり入れ、高温で両面から一気に焼き上げた独自の製法の「薄皮たい焼 銀のあん」はまさに極上の逸品。香ばしい食感とともに至福の瞬間がお口の中に広がります。



その他ブランド

La Quiche
ラ キッシュ

The Coffee Bean & Tea Leaf
コーヒービーン & ティーリーフ

日本橋
からり
からり

Croissant Taiyaki
クロワッサンたいやき

創業以来の一品
大釜屋
大釜屋

GIN CURRY
銀カレー

Quiche Yoroizuka
キッシュヨロイツカ

TOSHI STYLE
トシスタイル

時代のニーズやロケーションに合わせた業態開発を行うことで、出店余地の拡大とともに幅広い客層を開拓し、事業拡大を図っております。



築地銀だこ

たこ焼・焼そば・たい焼



「築地銀だこ」は、ショッピングセンターや商業ビル等を中心として、テイクアウト型、フードコート型、イートイン併設型が主力出店形態です。

展開当初からGMS(総合スーパー)にテイクアウトを中心とした出店を行い、“小腹”需要を掘り起こしてきました。GMSがショッピングセンターへと移行するなかで、テイクアウトだけでなく、その場で焼き立てが食べられるフードコート型やイートイン併設型へと変えることで、より多くのファミリー層を取り込み、一家だんらんの“食事”としても需要を広げています。



『築地本店』がオープン



店舗データ

『築地銀だこ 築地本店』
電話番号：03-6278-8889
営業時間：09:00～19:00
住所：〒104-0045
東京都中央区築地4-7-5
築地KYビル1F

20周年の節目にあたり、2017年6月9日(金)、新たな旗艦シップとなる『築地本店』をオープンいたしました。本店ならではのサービスとして、国産天然マダコを使用し、国産のかつお節をその場で削り、削りたてで提供しています。

特許出願済

南部鉄使用 次世代型銀だこ専用たこ焼機



新店・改装のタイミングで順次導入中(2017年導入実績：44店舗)

当社では、焼き手のパフォーマンスを最大限に発揮できる次世代型たこ焼機を独自開発しました。コンピューター制御された細かい振動によって当社の熟練職人の“返し”の技を再現し、新人スタッフでも安定した焼き上がりのたこ焼を提供することが可能となりました。これにより、築地銀だこの熟練職人が焼く手焼きの良さを残しつつ、生産性の向上と業界の人手不足への対応が図られることとなります。



『匠』のポイント

- ① 南部鉄による遠赤外線効果により、銀だこならではのカリ・トロを再現
- ② 焼き時間が25分から8分30秒に短縮
★1人当たりの生産性が3倍に
★タコの収縮を約50%に抑えられる
- ③ 油量が30%減少、ヘルシー化
- ④ 焼きロスや冷めロスが減少
- ⑤ 電気使用量25%減

銀だこハイボール酒場

たこ焼・焼そば・ランチ・酒場メニュー

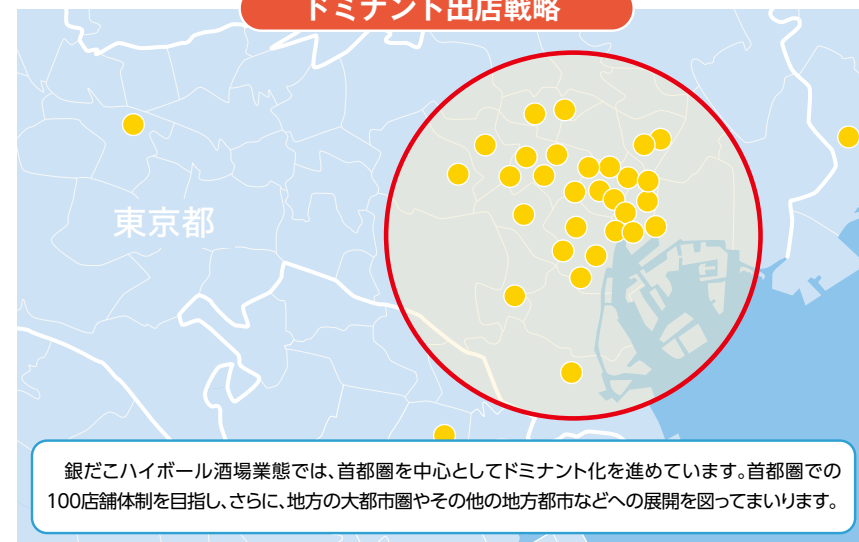


銀だこハイボール酒場は、首都圏や大都市のオフィス街・繁華街などで、OL・サラリーマンをターゲットにしたこ焼とハイボールを気軽に楽しむことができる業態です。

テイクアウト・店内利用ともに来店頻度が高く、たこ焼以外の豊富なおつまみやアルコールを含むドリンクなどのメニュー構成で、客単価も高く、収益性が良いのが特長です。

たこ焼とハイボールの組み合わせが浸透してきたことにより、“お酒のおつまみ”としてのたこ焼需要も拡大し、既存店の活性化にもつながっています。「築地銀だこ」業態とともに、当社グループの成長を牽引しています。

ドミナント出店戦略



銀だこハイボール酒場業態では、首都圏を中心としてドミナント化を進めています。首都圏での100店舗体制を目指し、さらに、地方の大都市圏やその他の地方都市などへの展開を図ってまいります。

銀だこ鉄板道場

たこ焼・もんじゃ焼・お好み焼・鉄板焼



銀だこ鉄板道場は、郊外型のセルフ式たこ焼店です。お客様自らが銀だこのたこ焼等を焼いて楽しむことができ、さらに豊富なフードとドリンク・アルコールメニューでファミリー層を中心に人気を博しています。テナントビルの上層階や地下に加え、郊外ロードサイドのフリースタANDING(独立した建物での出店形式)を中心に、首都圏郊外から全国への展開を見込んでいます。焼肉店等の居抜き物件を利用し、コストを抑えての出店が可能です。

銀だこ横丁

飲食屋台の集合体



銀だこ横丁は、当社が取り組んできた天ぷら・焼鳥・鉄板焼等の専門店ブランドを屋台形式で集合させた、活気のある横丁イメージの出店形態です。複数のブランドが持つそれぞれの「強い単品力」が集約されており、より幅広い客層や需要に対応できます。また、外国人観光客の来店も多く、今後は首都圏や大都市の繁華街や駅ビル等を中心とした出店も見込んでいます。

銀だこ大衆酒場

たこ焼・焼魚定食・刺身・酒



銀だこ大衆酒場は、炭火焼などハイボール酒場のメニューにはない、こだわりのある幅広いフードとドリンクを提供しています。商品単価もハイボール酒場より低く、さらにカウンター席を設けることでお客様が気軽に来店でき、より身近なコミュニケーションが取れるのが強みです。時間のあるアクティブなシニア層もターゲットとし、全国展開を視野に地方都市への出店も見込んでいます。

海外展開

Land Land USA, Inc. について

2017年10月16日(月)、巨大マーケットである米国市場に展開していくことを目的に、当社の米国子会社 Gindaco USA, Inc.の第三者割当増資を、かねてより協業関係にあったアークランドサービスホールディングス株式会社と当社で引き受けることで両社の合併会社とし、社号をLand Land USA, Inc.と改めました。今後は、Land Land USA, Inc.に両社の様々なノウハウやネットワークを結集させ、米国市場における事業展開を加速していきます。



合併会社概要

社 名	Land Land USA, Inc.
所 在 地	米国 カリフォルニア州
代 表 者	President : Sky Whitehead
事業内容	アメリカ合衆国での外食店舗運営及びFC展開
資 本 金	USD 3,000,000
大 株 主	当社51% アークランドサービスホールディングス株式会社49%

製販事業

自社工場の完成

当社では、「築地銀だこ」に並ぶ第二の事業の柱とすべく、グループブランドを活用した冷凍市販品の製造販売事業にも取り組んでいます。

2017年10月には、製販事業の核となる自社工場(群馬県桐生市)が完成し、同年12月より販売を開始しています。自社工場では冷凍たこ焼、アイス、あんこ、キッシュ製造ラインが整備されており、各ラインで手作り感のあるこだわりの商品を、心を込めて製造しています。

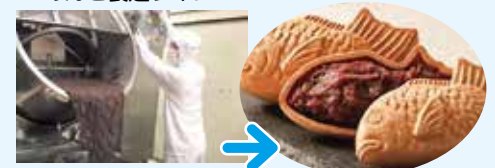


製造商品

冷凍たこ焼製造ライン



あんこ製造ライン



アイス製造ライン



キッシュ製造ライン



「第9回あつあつグランプリ」を開催!!

当社では、築地銀だこ職人の世界一を決める「あつあつグランプリ」を不定期で開催しています。2017年10月26日(木)に4年ぶりとなる第9回が実施され、全国から数千人が参加。日本だけでなく海外店舗の職人も集い、焼き手としての腕を競い合いました。

大会当日は、外部から現在多方面で活躍中の有名DJ、ヒップホップアーティストの方々にもご協力いただき、大盛況のうちに終えることができました。



予選・本選を勝ち抜いた3名が表彰されました。

2017年度実施のキャンペーンタイアップ

当社では他社企業とのタイアップ企画に積極的に取り組み、販路拡大や認知度向上に努めています。

築地銀だこ × ソフトバンク株式会社「SUPER FRIDAY」

ソフトバンクのスマートフォン利用者を対象にお得なクーポンを配信する「SUPER FRIDAY (スーパーフライデー)」において、2017年8月に学生など25歳以下のお客様限定で「築地銀だこ」のたこ焼(ソース、4個入り)を提供しました。



築地銀だこ × 人気スマホアプリ「モンスターストライク」

株式会社ミクシィのXFLAGスタジオが運営するスマートフォンアプリ「モンスターストライク」(以下、モンスター)とコラボし、年末年始キャンペーン「99%あたる! 銀だこGET! キャンペーン」*を実施しました。ゲーム内で特定のミッションをクリアする(キャラクターを99体集める)と、「築地銀だこ」のたこ焼(ソース、8個入り)1舟と無料で引き換えられる「銀だこギフト券(電子チケット)」が99%の確率であたるキャンペーンです。

ゲームには、築地銀だこ仕様のキャラクターが登場。また、「築地銀だこ」の一部店舗において店舗デザインを「モンスター」仕様に変更したコラボ店舗を展開し、キャンペーンを盛り上げました。

※キャンペーン期間：2017年12月14日(木)～2018年1月17日(水)



©XFLAG

連結財務データ

【経営成績】

	2016年度 [第26期]	2017年度 [第27期]
売上高(百万円)	31,533	32,407
売上総利益(百万円)	19,278	19,568
営業利益(百万円)	1,077	1,104
経常利益(百万円)	964	1,075
親会社株主に帰属する当期純利益 又は当期純損失(△)(百万円)	△ 661	425
1株当たり当期純利益 又は当期純損失(△)(円)	△ 36.02	23.12

【財政状態】

	2016年度 [第26期]	2017年度 [第27期]
総資産(百万円)	15,518	16,937
純資産(百万円)	3,989	4,475
自己資本比率(%)	24.2	24.2
1株当たり純資産(円)	204.01	223.11

【キャッシュ・フローの状況】

	2016年度 [第26期]	2017年度 [第27期]
営業活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	1,408	1,615
投資活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△ 1,611	△ 2,136
財務活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	690	985
現金及び現金同等物の期末残高(百万円)	1,262	1,755

株主優待情報

当社は、株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式の投資的な魅力をさらに高め、多くの皆様に保有していただくことを目的に株主優待制度を設けております。この機会に是非当社グループのサービスをご利用いただき、当社事業をより深くご理解いただけましたら幸いです。

優待内容

6月末日、12月末日現在で1単元(100株)以上の当社株式を保有されている株主様を対象に、全国のホットランドグループの各店舗で利用できる優待券を贈呈

100株以上500株未満

半年毎に1,500円分(年間3,000円分)

500株以上1,000株未満

半年毎に7,500円分(年間15,000円分)

1,000株以上

半年毎に15,000円分(年間30,000円分)



※日本国内の株式会社ホットランドグループの各店舗でご利用いただけます。なお、一部優待券の取り扱いのできない店舗がございます。最新の店舗情報につきましては、当社ホームページにてご確認ください。 (http://www.hotland.co.jp/ir/yutai.php)

株式の状況 (2017年12月31日現在)

発行可能株式総数	65,324,000株
発行済株式の総数	18,430,200株
株主数	25,917名

大株主 (2017年12月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社佐瀬興産	4,900	26.59
佐瀬 守男	1,628	8.83
日本製粉株式会社	1,078	5.85
イオンモール株式会社	560	3.04
佐瀬 由美子	511	2.77
サントリー酒類株式会社	509	2.76
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口5)	218	1.18
オタフクソース株式会社	210	1.14
株式会社Jーオイルミルズ	210	1.14
三菱UFJキャピタル株式会社	168	0.91

個人投資家向けIR活動

当社は、個人投資家様向けのIR活動にも積極的に取り組んでおります。2017年度は、5/11(木)(東京)、5/27(土)(東京)、6/3(土)(名古屋)、11/21(火)(東京)、12/16(土)(東京)と計5回の個人投資家IRセミナーに参加し、延べ600名の個人投資家の皆様に当社事業や戦略についてご説明させていただきました。いずれのセミナーも、代表取締役社長の佐瀬が登壇し、多くのご質問や励ましのメッセージを頂戴しました。

今後も、積極的にIR活動を実施してまいります。
ご支援の程を宜しくお願い申し上げます。



株式についてのご案内(株主メモ)

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月中
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当 毎年12月31日 中間配当 毎年 6月30日
単元株数	100株
公告の方法	電子公告により行う
公告掲載URL	http://www.hotland.co.jp/ir/ ただし、事故その他やむをえない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

